

市野新田ダムだより 27号



株式会社フジタ 東京支店
市野新田ダム作業所
電話 0257-29-2861

平成28年 12月 冬号

市野新田ダムの進捗について

11月の中旬から、当地区では曇りが降り始め23日にはとうとう雪が降り、周辺の山々の頂上付近が白く染まりました。作業所のダムの越冬養生も終わりに近づいています。

堤体は、盛立てた材料が凍結したり過剰な水分を含まないようにするため、越冬用のコア材で覆いました。来年はこの越冬用のコア材を撤去して、盛立てを再開します。

ダム下流側の盛立ては12月の中旬頃まで施工しました。

基礎地盤の法面はモルタルを吹き付けて越冬養生を行いました。

洪水吐(コンクリート水路)の施工は、先月に引き続き急ピッチで行っています。今年の作業終了が12月の下旬となっているため、除雪をしながらの作業を予定しています。

基礎処理工(地盤の改良工事)も12月の下旬まで作業を行います。

これらの作業を行うと共に、来春の作業をスムーズに始める体制を整えて本格的な冬を迎えたいと思います。



下流よりダムサイトを望む(ドローン撮影)

市野新田ダム 定礎式 平成28年11月3日

11月3日、修祓式と定礎式が厳かに行われました。当日はあいにくの天気でしたが新潟県知事(代理)をはじめ、会田前柏崎市長、品田刈羽村長、県議会議員、市議員、地元関係者、工事関係者など約140人の出席のもと執り行われました。式典の後は鶴川コミセンに会場を移して食事会、綾子舞の披露が行われました。

前日の準備の様子



地区行事



11/12 地区球技大会に参加
地域の方とランドゴルフを楽しみました



11/13 神社冬囲い
冬に向けての準備です

山の紅葉も終わりに近づき冬囲いも済み、後は雪を待つだけの女谷です。現場は11月3日に定礎式が終わり、冬に向けての準備をしております。

先日研修会で、フジタの白根ケーソン現場に行ってきました。この工事は水害による浸水を防ぐためのポンプ場建設工事で、壮大なコンクリート鋼材の建物を地中に埋め込んでいくのだそうです。現場は旧白根市内の住宅地にあるのでこんな工夫で和やかな雰囲気を出していました。お近くに行かれる機会があったらぜひご覧下さい。

今年も地域の皆様にはお世話になりました。どうか良いお年をお迎え下さい。来年も宜しく願い致します。



白根ポンプ場建設工事の様子



現場を取り囲むパネルには近くの幼稚園児の絵が。夜になるとイルミネーションが光る

